

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

有漢町の川関上道標



川関は有漢町（上房郡）の北東部に位置し、東は備前の加茂川町（御津郡）、北は美作の落合町（真庭郡）に接している。川関の北端は備前、備中、美作の接点になっているため三飛と呼ばれている。

川関上道標は、江戸時代に建てられたといわれており、「右八びぜんかも道 左八さく志う木山道」と彫られている。備前と美作への分かれ道を示す大切な道標であった。往時、木山神社（落合町）は農耕植林・牛馬殖産の守護神として広く信仰を集め、多くの人々が木山道を通して参拝に行った。

道標の高さは60センチ、幅22センチで上部に仏像が彫られている。仏像が彫られた道標は有漢町内ではこれだけである。仏像の下に「施主川関村八十良」と彫られている。施主の八十良は、川関の諏訪神社の境内にある道標にもその名が刻まれている。八十良は川関村の石工であろうといわれているが、正確なことは伝わっていない。

【参考文献】

- ・「有漢の文化財」有漢町教育委員会 1993
- ・「有漢町誌 地区誌編」有漢町教育委員会編 有漢町 1997
- ・「続 有漢郷土史」有漢町教育委員会 1981
- ・「落合町史 地区編」落合町 1999



文化センター合唱団 第39回定期演奏会 (ファイナルコンサート)

日 時 平成16年2月14日(土) 午後6時開演
 会 場 岡山県総合文化センター・ホール
 主 催 岡山県総合文化センター
 文化センター合唱団
 岡山県総合文化センター文化振興会
 入場料 無料



文化センター合唱団では、第39回定期演奏会を開催します。

当合唱団は、昭和40年に発足して以来、地域社会に音楽の輪を広げるために活動してきましたが、文化センター閉館に伴い40年にわたる活

動を終えることになりました。

締めくくりの演奏会をファイナルコンサートとして合唱団OBの方々を交えて開催しますので、ぜひともご来場いただき、最後の歌声を聞いていただきたいと思います。

..... プログラム

- 第一ステージ 混成合唱組曲「美しい三人の姉妹」
 指揮：高原景介（初代指揮者）/ピアノ：能勢純子
- 第二ステージ 混成合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
 指揮：柿本幸徳（現指揮者）/ピアノ：三浦聡子
- 第三ステージ 混成合唱組曲「水のいのち」から
 指揮：山崎泰雄（2代指揮者）/ピアノ：大塚静江
- 第四ステージ 混成合唱組曲「旅」
 指揮：柿本幸徳（現指揮者）/ピアノ：三浦聡子

文化センター合唱団の沿革

昭和40年 県の歌唱運動の奨励普及を目的に、阿部幸人氏により起案され、指揮者に高原景介氏を迎えて団員13名で発足。

昭和41年 第1回発表演奏会を開催。

昭和42年 岡山県合唱連盟に参加し、連盟主催の合唱フェスティバル等に参加。

昭和43年 岡山県教職員銀婚祝賀式典に出演。
 （平成13年まで継続）

昭和47年 機関誌創刊号を発行。

昭和48年 団則を制定。団歌を発表。

昭和50年 10周年記念演奏会を、三木記念ホールで開催。

昭和60年 20周年記念演奏会を、岡山市民文化ホールで開催。

平成3年 創立25周年記念誌を刊行。

平成9年 全日本合唱連盟50周年記念表彰、岡山県合唱連盟50周年記念表彰を受ける。

おかやま人物往来 ⑦⑦

平沼 騏一郎

平沼騏一郎は慶応3年(1867)に津山藩士平沼晋の次男として生まれた。長兄、平沼淑郎は東京大学卒業後、岡山県尋常師範学校教諭、教頭などを経て、早稲田大学学長になっている。

騏一郎は、明治5年(1872)父親に連れられて上京し、津山藩出身で宇田川榕庵の養子である宇田川興齋に就いて漢学を学び、同じく津山藩出身の齋作秋坪の三又学舎で英語、漢文、算術を勉強している。明治11年(1878)東京大学予備門に入り、明治16年(1883)東京大学法学部に入学。この年、東京大学の学位授与式が、前年まで夜に挙行されていたのに昼間に挙行されることになった。そんなささいなことに学位授与式に臨むはずの学生たちが不満を抱き、上野から日暮里まで旗をたてて行進し、その後食堂などに乱入して暴れるという事件を起こした。そのため退学処分となった学生は147名で、その中に騏一郎もいた。心ならずもこの騒ぎに参加した者が多数いるということで60名ほどに復学が許され、騏一郎も復学した。明治21年(1888)帝国大学法科大学を首席で卒業して、司法省参事官試補、民事局勤務を命じられ、以後判事になる。明治32年(1899)に東京控訴院検事になってから検事畑を進み、大審院検事、司法省民刑局長、司法省刑事局長、司法次官を歴任し、大正元年(1912)検事総長になる。検事時代に欧米に派遣されたり、法学博士の学位を授けられたりしている。また大逆事件を取り扱った時、幸徳秋水たちに「天皇陛下」という敬語を使うように説得したという話も伝えられる。

騏一郎の思想の第一の柱は天皇が統治の主体で、祭政一致の政治を行うべきだということになる。したがって美濃部達吉の天皇機関説に反対、無政府主義者や社会主義者は許しがたいものであった。ドイツの独裁思想である国家社会主義や近衛文麿

の新体制運動、大政翼賛会の動向なども皇室の廃止につながると危険視した。昭和14年(1939)騏一郎は首相となり、日独伊三国同盟を計画するが、これは共産主義撲滅のためであった。しかしドイツがソ連と不可侵条約を締結したために内閣総辞職を断行。騏一郎としては当然のことであった。

第二の柱はわが国古来からの良さを確保した上で外国の美点を採り入れるということである。国本社という思想的啓蒙運動団体を主宰し、日本精神主義、国粹主義的な思想を宣伝した。他に無窮会、修養団の活動も支援した。

昭和16年(1941)8月14日、騏一郎は西大久保の自宅で右翼に襲われる。グルー米國務長官代理に働きかけて戦争をくい止めようとしたためであった。また昭和20年(1945)8月15日佐々木工兵大尉の率いる暴徒によって自宅を襲撃された。ポツダム宣言受諾に賛成したからであった。

大審院長、司法大臣、枢密院議長、内閣総理大臣を歴任し、男爵の爵位を授けられた騏一郎は極東国際軍事裁判でA級戦犯として終身禁錮刑に処せられた。昭和27年(1952)騏一郎は85歳で生涯を閉じた。

【参考文献】

- 「朝日新聞マイクログラフ S16.8.15」
- 「平沼騏一郎伝」(岩崎栄著 大空社 H9)
- 「平沼騏一郎回顧録」(平沼騏一郎回顧録編纂委員会 S30)
- 「平沼騏一郎先生逸話集」(平沼騏一郎先生逸話集 刊行会 S33)



知新館(津山市南新座)

平沼家がもともとあった地で、騏一郎が70歳を迎えた時、郷土や法曹会の人々がこの地を買い戻し、屋敷を新築してお祝いに贈ったものである。

当館の参考図書 ⑬①

『日本人の国語力 平成14年度国語に関する世論調査』 2003年6月 文化庁

世論調査をはじめとする各種の統計は、重要な参考図書の一つとして、図書館で多数収集されている。

今回取り上げた「国語に関する世論調査」は、過去5年以上毎年行なわれている調査であり、関心の高さが伺える。

調査項目には、最近の話題を反映したものがある。「声に出して読みたい日本語」がヒットする等、音読がブームだが、音読・朗読・暗唱の効果についての質問が設けられている。

また、気になる言葉づかいの3つの例について

の質問も興味深い。平成8年度の調査と同じ設問で、比較できるようになっている。「あしたは休ませてください」「お会計のほう、一万円になります」「千円からお預かりします」...あなたは、この言葉づかいが気になるだろうか。あるいは、気にはなるけれど時々使ってしまうだろうか。

巻末には調査方法についても記載されている。この調査では、対象者は全国から無作為に選ばれている。あなたの意見が世論調査に反映される機会があるかもしれない。



子ども読書活動推進フォーラムインつやま（報告）

子ども・本との出会い

日時：平成15年8月23日(土) 会場：グリーンヒルズ津山リージョンセンター

県北津山市でも最高気温が34.7 という残暑厳しい8月23日、グリーンヒルズ津山のリージョンセンターを会場に、岡山県教育委員会と岡山県総合文化センターの主催で「子ども読書活動推進フォーラムインつやま」が開催されました。



子どもの読書や本との出会いに対する関心を高めるとともに、家庭、地域、学校・図書館等が一体となって連携し、子どもの自主的な読書活動を更に広げる契機として、基調講演、フォーラム（公開討論会）、地元のボランティアによる子ども向け催し物が行われました。

午前10時30分のオープニングセレモニーを前に、ぞくぞくと家族連れが詰めかけ、会場は早々に満員となりました。津山市内の中学生・高校生で構成されたグループ『ダンススタイル』によるダンスショーでセレモニーを華やかに盛り上げてくれました。

午前中の行事は、県北を中心に活躍するボランティアグループ『あいあいスマイル』、『津山市一宮公民館おっはなし会』、『たんぼぼの家』のみなさんによる本の読み聞かせ、人形劇、大道芸人竹内誠二氏によるバルーンショーなどが行われました。子どもたちはどの会場へも行きたくて、ずいぶん迷っている様子でした。



午後からは基調講演、フォーラムが開催され、別の会場ではボランティアグループ『まるパンの会』による人形劇や影絵、『わくわく科学ランド』の子ども向け科学実験や工作教室もありました。午前中に引き続き、どの会場も大変な賑わいでした。

基調講演は、地域の子どもたちに自宅の図書を開放した家庭文庫の『すずらん文庫』を30年以上も前から主宰している渡辺順子氏が『今、なぜ0歳から絵本なのか？～絵本が結ぶ家族の絆～』と題して、絵本の素晴らしさをお話してくださいました。参加者からは「子どもに絵本を与える大人の責任の重さを再認識し、良い絵本の選び方が初めて理解できた。」「自信をもって取り組まれている具体的、実践的な内容が大変参考になった。」との声が多く聞かれました。

フォーラムでは、渡辺順子氏を交えて、津山市PTA連合会の有宗光子氏、『こどもと本 - おかやま -』の伊丹弥生氏、津山市立図書館の大河原信子氏、岡山市立妹尾幼稚園の梶谷恵子氏、吉備こどものとも社の河口純一郎氏、地元の高校生とコーディネーターとして岡山県総合文化センターの菱川廣光氏がそれぞれの立場から“子どもと本との出会い”について熱く意見を交わしました。

これを機会に、読書によって心の成長や生きる力を身につける子どもたちがひとりでも多く増えることを願い、さらにその環境整備が積極的に推進されることを期待しています。



平成15年度岡山県読書大会・一日こども図書館フェスティバル(報告)

日時：平成15年9月27日(土) 10時30分～15時30分 / 場所：寄島町総合福祉センター

岡山県読書大会は今年で32回目を、一日こども図書館フェスティバルは今年で9回目を迎える読書普及を目的としたイベントです。今回は初の試みとして、この2つのイベントを同時開催しましたが、多くの皆様に参加していただき、読書の秋にふさわしい一日を過ごしていただけたことと幸いです。

開会行事の中で行われた、岡山県読書大会表彰式では、県内の図書館で活躍されているボランティアグループと個人の方、そして地域の図書館振興に貢献して下さった団体の方に、表彰状や感謝状が贈られました。

表彰式に続いて行われた一日こども図書館員の任命式では、開催地の寄島小学校に通う児童10人が任命され、代表の一人が元気に挨拶をしました。



よい子に読み聞かせ隊による読み聞かせ

開会行事終了後には、作家の志茂田景樹氏が隊長を務める「よい子に読み聞かせ隊」による読み聞かせが行われました。フルートの演奏とともに行われる読み聞かせは臨場感にあふれ、また読み聞かせの合間には志茂田氏と子どもたちのやりとりもあり、会場に詰め掛けた参加者の皆さんも楽しいひと時を過ごしていただけた様子でした。

午後からの「子どもの心にロマンの森を～読み聞かせで心豊かな子どもに～」と題した記念講演では、子どもたちの感性を大切にしようとする志茂田氏のお話に参加者一同感銘を受けました。

この他に会場では、ボランティアグループによる紙芝居や、お話し会等が催され、本のフリーマーケットでは一日こども図書館員も活躍し、本と触れ合う楽しさを味わっていただけた一日となりました。



一日こども図書館員の任命式

岡山県読書大会表彰の受賞者

(敬称略)

被表彰者

- ・ 灘崎文庫くるりんば 代表者：辻田順子
- ・ おはなしの会かたつ夢り 代表者：浮田照子
- ・ 松本純子
- ・ 津山市立図書館布えほんボランティア 代表者：四橋美代子

感謝状受贈者

- ・ 株式会社山田養蜂場 代表取締役社長：山田英生
- ・ 弓削川柳社 代表者：濱野奇童



表彰式

新着郷土資料紹介

金光大神 金光教本部教庁著、発行 2003 566
 円

墨池山清滝寺の宝物 清滝寺編、発行 2003
 31円

**「誠心誠意」たれ 仁科百貨店百年の歩みを支
 えた創業の心** 仁科省吾著 いい話の新聞社発行
 2003 58円

岡山県経済ダイジェスト 2003 増刊岡山経済
 岡山経済研究所編、発行 2003 122円

閑谷学校ゆかりの人々 特別史跡旧閑谷学校顕
 彰保存会編 山陽新聞社発行 2003 329円

金光町の民話 立石憲利著 吉備人出版発行
 2003 188円

**仁科芳雄博士記念科学講演会講演録 第13巻
 (2002年度)** 岡山物理を語る会企画・編集 科
 学振興仁科財団発行 2003 82円

備前商工名鑑 平成15年版 創立50周年記念誌
 岡山県備前市、備前商工会議所編集 備前市発行
 2003 158、47円

おかやま山陽道の拓本散策 岡山文庫224 坂本
 亜紀児著 日本文教出版発行 2003 157円

海釣り手帳 2003 岡山県漁業協同組合連合会
 編 岡山県発行 2003 56円

**評価倍率表 鳥取県・島根県・岡山県 広島国
 税局管内 財産評価基準書 平成15年分 1 / 15**
 広島国税局編 大蔵財務協会発行 2003 487円

最近の消費生活相談事例 平成14年度掲載分
 岡山県消費生活センター発行 2003 23円

**〔岡山県立大学・岡山県立大学短期大学部〕創
 立10周年記念誌** 岡山県立大学・岡山県立大学短
 期大学部発行 2003 134円

富の杉の名木 歴史を見つめてきた巨樹老樹
 富村貴重樹選定委員会編 富村教育委員会発行
 2003 44円

新着外国語資料紹介

Art held hostage : the battle over the Barnes Collection

門外不出

(by John Anderson / W.W.Norton / 2003)

本書は、アメリカにおいて最大の印象派、後期印象派の絵画コレクションを有する伝説の美術財団、バーンズ財団の内実を、多くの関係者のインタビューを通して描き出したものである。バーンズ・コレクションは医者であり化学者であったアルバート・バーンズが、20世紀初頭から収集し、一部の学生や研究者にのみ公開されてきた門外不出のコレクションである。セザンヌ、マチス、ピカソ、モディリアーニ、ルノアール等、所蔵の一部が一般に公開されたのは1993年のこと。日本でも巡回展が開催され、107万人の観客を動員した。当時の財団理事長であったリチャード・グラントは大胆な改革を試み、この特異な美術財団を運営した。創設者の絵画への深い熱情と強い意志は今もなお、受け継がれている。

One stormy night...

せつない
 友情

(by Yuichi Kimura and Hiroshi Abe /
 Kodansha International / 2003)

ヤギのメイとオオカミのガブ。嵐の夜に真っ暗な小屋の中で出会った二匹は、相手がだれだかわからないまま友だちになったのだが.....



木村裕一、あべ弘士のコンビで人気を博した絵本『あらしのよるに』の英訳版である。不思議な友情物語は嵐のおさまった翌日から新たな展開をみせ、シリーズは6巻まで続く。“きみはこれから、いのちをかけてもいいとおもえるくらいのひとや、やりたいことにであえるかな？”

The spooky art : some thoughts on writing

気味の悪い
 アート

(by Norman Mailer / Random House / 2003)

作家として50年以上のキャリアをもつノーマン・メイラーが、自身の創作活動についてや、影響を受けた作家についてなどを、率直に綴ったエッセイである。デビュー作『裸者と死者』以来反戦、反権力の姿勢を貫き、近著『なぜわれわれは戦争をしているのか』ではアメリカの対イラク戦争を批判し話題となった。本書でも、“書くことは気味の悪いこと”といい、作家の日常を独自の批評精神で綴っている。

随想

チカラに頼らない

安達 雅彦 (新見公立短期大学教授・フルート奏者)



「フルートが専門」と言いますと、「フルートを吹くのは、しんどいですね。酸欠で頭がボーッとしませんか」と尋ねられます。でも、その様なことはありません。なぜでしょう。うまく音が鳴らないと、たしかにしんどいですし、頭がボーッとします。ところが、音を鳴らせるようになって、その様なことは起こりません。音が出るか出ないかが、境目なのです。

俗に酸欠と言われる頭がボーッとする症状は、酸素が不足するのではなく、身体の中に酸素がたくさん供給されてしまう過呼吸、つまり、酸素を取り入れすぎて炭酸ガスを体外に出し過ぎてしまうのが原因です。酸素が足りないどころか、多すぎて頭がボーッとしてしまうのです。言わば、酸素供給過多です。

では、どうして酸素供給過多になるのでしょうか。それは、先に書いたように、音が出るか出ないかにかかっているのです。

フルートを吹こうとした際に音が出ないと、すぐに息を吸ってフルートに息を送ります。ここで音が出ればいいのですが、不幸にしてこの度も音が鳴らないと、また息をとって吹くこととなります。この時点で、すでに呼吸の回数は通常より多いはず。でも、多くの人は、過呼吸の初期症状が始まっているにもかかわらず、「あれれ、フルートが鳴らないよ！」という焦りから、息を吸う 音が出ない 息を吸う...、という悪循環に突き進んでしまうのです。行き着く先は本格的(?)酸素供給過多で、「フルートを吹くと、頭がボーッとするよ」となってしまうのです。

では、音が出ると、なぜ酸素供給過多にならないのでしょうか。

実は、いったんフルートが鳴り始めると息を吐いている時間が長くなって、通常の呼吸回数に近づきます。しかも、息をフルートに吹き込むポイントが捕まえられると、優しい息で音が出るので、長い時間、音を鳴らし続けることができるようになるのです。

つまりフルートは、力まかせに吹くと音が出ず、ツボに息を送ると鳴ってくれる楽器なのです。

先日、小学校の音楽鑑賞教室で演奏する機会がありました。私のフルートは、昨年の8月に楽器の一部を新しくしたために、従来よりも力強い音が出る楽器に変身しました。それは、強い息にも耐えられるフルートになったことを意味します。

「フルートはチカラではなくワザで吹くべし」というのが私の持論です。力強い音もワザで対処すべきだ、と考えています。ところが、強い音が出るフルートが手に入ったために、息のチカラに頼ってしまい、8月から後の演奏で、少しずつ“力み”が増していたようです。お恥ずかしいことに、そのことに気づきませんでした。先の小学校の演奏では、強引とも思える息で吹いたためにフルートは豊かに響かず、演奏も不本意な結果になりました。聴いてくださった方々には申し訳なく思っています。そして、この演奏の直後に、やっと自分の“力み”に気づいたのです。

16歳からフルートを吹き始めて、35年がたちました。人生の約七割の月日をフルートに費やしたのですが、思うように音が出なかったり、目的とした表現に結びつかなかったりと、常に難しさを痛感します。しかし、それでもやめようと思ったことはありません。なぜならば、時々(本当に時々ですが) 納得できる演奏になることがあり、その時は何にも代えがたい喜びを感じるからです。これからも、聴衆の皆さんと喜びを共有できるよう、フルートを吹いていこうと思っています。

岡山県総合文化センター閉館のお知らせ

当館は、平成16年3月末にて閉館します。

図書館部門は、平成16年秋に開館の岡山県立図書館へ移転します。

芸術文化部門(展示室・ホール)は、改修工事を行い、新しい施設として開館する予定です。

なお、改修後の開館時期は、平成17年度中に開館の予定です。開館後の御利用につきましては、別途案内されます。

大変ご迷惑をおかけします。

ギャラリー

期間 (週)	第一展示室		第二展示室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
1 / 27 2 / 1	岡山市水墨画連盟展 水墨画150~180点 <岡山市水墨画連盟> 入場無料		第20回 岡山県工業高校デザイン展 県立工業高校デザイン学科系の生徒作品 <岡山県高校工業教育協会> 入場無料	
2 / 3 2 / 8	中国デザイン専門学校 平成15年度造形専門課程卒業制作展 デザイン(Web、ビジュアル、イラストレーション、アニメーション、建築等) 31点 <中国デザイン専門学校> 入場無料		第39回 岡山県書道協会展 書 <岡山県書道協会> 入場無料	第8回 凌尚会書道展 書40点 <凌尚会> 入場無料
2 / 10 2 / 15	第36回 岡山県高等学校美術展 (第27回岡山県高等学校総合文化祭参加) 油絵、水彩画、デザイン、彫塑、工芸等約370点 <岡山県高等学校美術部協議会> 入場無料		第12回「宙」日本画作品 日本画26点 <「宙」(そら)日本画勉強会> 入場無料	
2 / 17 2 / 22	ノートルダム清心女子大学児童学科 卒業制作展 油絵、彫塑、デザイン <ノートルダム清心女子大学児童学科美術研究室> 入場無料		第4回 日本画坤(つち)の会 作品展 日本画40点 <坤の会> 入場無料	
2 / 24 2 / 29	第139回 県下小・中学校書き初め展覧会 県下小・中学生習字作品 約1,500点 <岡山県習字教育研究会> 入場無料		第48回 岡山市教職員美術展 絵画70点・彫刻3点・工芸40点・写真17点 <岡山市教職員美術展運営委員会> 入場無料	
3 / 2 3 / 7	岡山県立大学デザイン学部・岡山県立大学大学院デザイン学研究科卒業・修了制作展 平面及び立体デザイン100点 <岡山県立大学> 入場無料			
3 / 9 3 / 14	岡山大学教育学部美術教育講座 「卒業、学生展」 油絵・彫刻等50点 <岡山大学教育学部美術教育講座> 入場無料	木曜会写真展 写真80点 <写真クラブ木曜会> 入場無料	第1回 帰ってきた写真展 写真約200点 <岡山写真研究会> 入場無料	
3 / 16 3 / 21	第21回 岡山県現代俳句の書展 書約170点 <岡山県近代詩文書道連盟> 入場無料		第34回 備前陶心会展 陶芸(備前焼)42点 <備前陶心会> 入場無料	岡山美術クラブ展 絵画・木彫・染色他122点 <岡山美術クラブ> 入場無料
3 / 23 3 / 28	第37回 聖雲書道会展 書約200点 <聖雲書道会> 入場無料		第3回 曾閑会書道展 書約150点 <曾閑会> 入場無料	第2回 彩悠展 油絵60点 <彩悠会> 入場無料

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール (固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
2 / 7 (土) 2 / 8 (日)	(第343回文化センター土曜劇場) 劇団CARATプロジェクトカンパニー 公演	未 定	未 定	岡山県総合文化センター
2 / 14 (土)	第39回文化センター合唱団定期演奏会	18:00~	無 料	岡山県総合文化センター
2 / 15 (日)	就実高校演劇部卒業公演	未 定	無 料	就実高校演劇部
2 / 28 (土) 2 / 29 (日)	演 劇 公 演	未 定	当日:1,500円 前売:1,200円	プリクル・ハイパー パフォーマンスユニット
3 / 5 (金) 3 / 6 (土) 3 / 7 (日)	平成15年度岡山県立大学 デザイン学部研究科・卒業修了制作展	未 定	無 料	岡 山 県 立 大 学
3 / 12 (金) 3 / 13 (土)	演 劇 公 演	未 定	1,500円	劇 団 ひ び き
3 / 14 (日)	ピアノ発表会	9:30~	無 料	藤 井 眞 弓
3 / 20 (土)	21世紀COEプログラム 第10回市民講座 「エネルギーと環境を考える」	13:30~	無 料	京 都 大 学 大 学 院 エ ネ ル ギ ー 科 学 研 究 科 21世紀COEプログラム
3 / 26 (金) 3 / 27 (土) 3 / 28 (日)	演 劇 公 演	未 定	未 定	S a n T a B a g

ホールは、楽屋2.5㎡・舞台96.40㎡・客席196.98㎡・固定席282席です。
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)